

資料3

第4学年 学級活動（2）指導案

日 時 平成21年11月27日（金）5校
時
場 所 郡山市立行健第二小学校 4年3組
指導者 T1 教 諭 小熊真奈美
T2 栄養教諭 武藤 真紀

〈授業のテーマ〉

朝ごはんの大切さを理解し、自分の朝ごはんのとり方を見直すことで、毎日朝ごはんをしっかりと 食べようとする意欲を育て、実践の計画を立てることができる授業

1 題材名 しっかり食べよう朝ごはん
～（キ）学校給食と望ましい食習慣の形成 ～

2 題材の目標

朝食の大切な役割を理解し、朝食をしっかりと食べるための課題に気づき、改善に向けた実践の意欲を高め、実践計画を立てることができる。

3 学習計画

- 事前指導・・・「食生活アンケート」
- 本時
- 事後指導・・・「朝ごはんチャレンジシート」の活用で実践に生かす。

4 題材に寄せる思い

食習慣は、子どもの頃の習慣が成長してからの習慣に与える影響が大きく、大人になって改めることは難しい。心身ともに成長の著しい時期にある子どもたちが、今まで得た知識を深め、よりよい食生活を実践できる能力を身につけていくことは大切であるといえる。

本学級の児童は、「食生活アンケート」を実施したところ、朝食は毎日食べている 20名（83%）食べる日が多い4名（17%）だった。内容は主食のみ、または主食にふりかけのみで野菜の摂取が不足している児童がほぼ半数であった。また、朝食にかける時間も5分以内が4名、5～10分が9名、10～15分が7名と、食時時間が短く、咀嚼回数も少ない。さらに、朝、排便の習慣がある児童が6名（25%）と少ない。このことから、食事内容、食事の量、時間、咀嚼回数を見直す必要があると考えられる。


そこで本時では、栄養教諭とのTTにより、専門的な立場からわかりやすく説明することで、朝食の大切さについて、一人ひとりの子どもがより深く考えることができるようにする。また、「食生活アンケート」もとに、自分たちの課題に気づかせ、自分の食生活を改善しようとする意欲を持たせたい。

5 本時のねらい

- 朝食の大切さについて話し合い、自分の食生活を改善しようとする意欲を持つことができる。

6 指導過程

学 習 活 動 ・ 内 容	時間 形態	○指導上の役割・留意点	※評価
		T 1	T 2

課題の意識化	<p>1 本時の学習内容を知り、めあてをつかむ。</p> <p>(1) 給ちゃんの食事の様子を見て、問題点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量が少ない ・時間が短い ・野菜がない <p>(2) 本時のめあてをつかむ。 朝ごはんをしっかり食べることができるよう生活を見直そう。</p>	5分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給ちゃんの朝ごはんの様子から問題点を考えさせる。 ○ アンケート結果から朝食に対する課題意識を高めさせ、本時のめあてをつかませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題のある給ちゃんの朝の様子を紙芝居を見せ、朝食への意識を高める。 ○ アンケート調査の結果を提示し、視覚的に捉えさせる。
課題の追求	<p>2 給ちゃんが朝ごはんを食べて元気になるための生活について、グループごとに話し合う。</p> <p>(1) 給ちゃんへのアドバイスを考え、ワークシートの吹き出しに入させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く寝ると早く起きられる。 ・野菜ももっと食べる。 <p>(2) グループで話し合い、吹き出しにアドバイスを記入する。</p> <p>(3) 各グループで発表し、黒板に貼り付ける。</p> <p>(4) どの部分を改善したらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間 ・量 ・バランス ・かむこと 	20分 個人 ↓ 小集団	<p>※ 給ちゃんへのアドバイスを考えることができたか。(ワークシート、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アドバイスの内容をより具体的に書いたり、生活習慣にも目を向けられるように支援する。 ○ 話し合いがスムーズに進むように、各グループを支援する。 ○ グループごとにでたアドバイスを発表させる。 ○ アドバイスを観点ごとに分類することにより、自分の生活を見直すきっかけになるようにする。 	<p>※ 給ちゃんへのアドバイスを考えることができたか。(ワークシート、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 吹き出しは発表後の改善につなげるようにする。 ○ 改善する視点が広がることできるように支援する。 ○ 黒板に貼ることにより改善点を集約できるようにする。
まとめ	<p>3 バランスよく食べると、体に3つの目覚ましスイッチが入ることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体温が上がり元気が出る。(体の目覚まし) ・脳の働きが活発になる。(脳の目覚まし) ・おなかの調子がよくなる。(排便のスイッチ)(量についても知る。) 	10分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ T2の資料提示を補助し、児童の理解を促す。 <p>※ 朝ごはんの役割について理解することができたか。(ワークシート、観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝ごはんの大切さを3つの観点から理解させる。 ○ 朝ごはんの量をフードモデルから捉えさせる。
	<p>4 自分が朝ごはんをしっかり食べるために実践することをシートに書き、発表する。</p>	10分 個別 ↓ 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自の改善点について机間指導により個別に支援する。 ○ 各家庭の事情に配慮しながら、これからの生活を見直して朝ごはんを食べようとする意欲をもたせる。 ○ チャレンジシートを配り、家庭への啓発を図る。 	<p>※ 自分生活を見直し、朝ごはんをしっかり食べるための具体的な目標を立てることができた</p>

			か。(発表、ワークシート)


7 板書計画

めあて

朝ごはんをしっかり食べることができるよ
う生活を見直そう。

給ちゃんの朝の様子

きゅうちゃんへのアドバイス



小黑板

朝ごはんのはたらき